

神奈川特集

「視点、視野、視座」の重視を

連合神奈川会長 吉坂義正氏



私は工業高校を卒業して、1977年に日産自動車に就職し、1998年に日産自動車労働組合に出向、2004年に日産自動車労働組合副中央執行委員長、2008年に自動車総連神奈川地方協議会議長、2012年に連合神奈川会長代行、2019年から連合神奈川会長に就任している。会社勤務が約20年、労働組合勤務が約20年になる。

連合は全国のあらゆる産業で働く人たちが参加する組織(ナショナル・センター)で、約700万人が加盟している。すべての働く人たちのために、雇用と暮らしを守る取り組みを進めている。日本の労働組合は、企業別組合、産業別組合、ナショナル・センターの3層構造になっている。ナショナル・センターは、全国中央組織としての労働運動の一体的な推進をはかる機能・役割を果たし、個別の産業や地域では解決が難しい課題に取り組んでいる。連合には50の産業別組織(産別)と47の地方連合会が加盟している。産別には同じ産業に加盟する企業別組合が加盟し、産業全体に共通する労働条件や産業政策などの課題に取り組んでいる。企業別組合は、職場における労使交渉・協議を通じて、労働条件の改善、職場環境の改善、組合員へのサービス活動を行っている。

労働組合の役割

労働組合の役割には労働条件の改善や生活環境の改善などがあるが、企業内でできること、企業内ではできないことがある。企業内でできることは、賃金を上げることや、社内の労働条件を良くすること、働きやすい職場づくりなどで、これらを実現するため、個別労使による交渉・協議を行っている。企業内ではできないことについては、国(法律、社会保障、働き方など)や県(運営や仕組み、予算要求)、市(運営や仕組み、予算要求、まちづくり)などに対して、政策・制度の実現に取り組んでいる。議会や行政に要請し、友好な議員を擁立するといった取り組みを連合や地方連合会が行っている。

日本の現状

日本の現状については、①人口減少と超少子高齢化の進行、②持続可能性が問われる財政と社会保障、③

中に登場すると考えられている。今後、ソサエティ5.0で実現する社会では、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値が生み出される。また、AIにより、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題の克服が期待されている。社会の変革(イノベーション)を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合える社会、一人一人が快適に活躍できる社会が到来するとされている。

この30年間、主要国の平均賃金は上がっているが、日本の平均賃金はほとんど上がっていない。その原因は、①デフレが長引いて、企業の投資機会が失われていること、②雇用のミスマッチが広がって、中間層が消えつつあること、③賃金交渉力が他国に比べて弱い(組織率の低下など)によって、集团的労使関係がカバールしている範囲が縮小していることなどが挙げられる。

産業革命の歴史を振り返ると、第1次産業革命では、石炭エネルギーという動力の獲得により軽工業が、第2次産業革命では、石炭エネルギーから石油エネルギーへと動力の革新が起こったことにより重工業が発展し、第3次産業革命では、コンピューターを中心として情報通信産業が拡大した。第4次産業革命では、IoT(Internet of Things)や人工知能(AI)などを活用することで、今まで想像できなかった商品やサービスが次々と世の中

ある。健全な労使関係のベースに生産性運動三原則があることは、戦後の歴史の節目ごとに経済界・労働界・学識者の三者が確認し合ってきたことである。連合は「働くことを軸とする安心社会」をめざしている。働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットがくみこまれていく活力あふれる参加型社会である。加えて、「持続可能性」と包摂を基盤に置き、年齢や性、国籍の違い、障害の有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会である。

それらの実現に向けては、「働くこと」につながる五つの安心の橋を整備していくことが求められる。五つの橋とは、「学ぶことと働くことをつなぐ橋」と「学ぶことの推進、生涯を通じて学び続けられる環境の整備(学び)」、「くらしと働くことをつなぐ橋(すべての人々が働き続けられる公平・公正なワークルールの確立、多様な働き方・生き方が選択できる社会の構築など)」、「働くかたちを変ええる橋(良好な雇用の拡大と完全雇用の実現、デジタル・ワークの実現など)」、「離職から就労へつなぐ橋(職業訓練と公正な能力評価、雇用のマッチング機能のパッケージ戦略の構築、すべての労働者に雇用保険と社会保険を適用など)」、「健康・長寿社会をつくる橋(誰もが希望すれば生涯にわたり働き続けられる社会の構築、安心と信頼の所得保障制度の整備・普及など)」だ。

働くことの意味とは何か。私は、働くこととは、①収入を得ることによって生活を維持すること(経済的自立)、生きていくための手段)、②仕事を通じて知識や技術を習得し、やりがいを持ち人生を充実させること(自己実現をはかる、自分自身の成長)、③仕事を通じて得られる社会とのつながりを持つこと(人と人の交流や組織を通じて、社会の一員となる)の三つだと思っている。

皆さんは今後、仕事を進めるにあたっては、「視点、視野、視座」を重視してほしい。視点とは「視線が注がれるところ(どこを見ていくか)」、視野とは「眼を動かさずに知覚できる範囲(どこまで見ているのか)」、視座とは「物事を見る立場(どこから、どの高さからみているか)」だ。物事をスムーズに進めるために、視点を変え視野を広げ視座を高くすることで、高い思考力につながる。また、自分の正しさに酔ってはいけないということも言っておきたい。相手へのリスペクト(敬意)と自己へのリスペクト(疑念)がとても大切なことだと思

ている。健全な労使関係のベースに生産性運動三原則があることは、戦後の歴史の節目ごとに経済界・労働界・学識者の三者が確認し合ってきたことである。連合は「働くことを軸とする安心社会」をめざしている。働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットがくみこまれていく活力あふれる参加型社会である。加えて、「持続可能性」と包摂を基盤に置き、年齢や性、国籍の違い、障害の有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会である。

健全な労使関係のベースに生産性運動三原則があることは、戦後の歴史の節目ごとに経済界・労働界・学識者の三者が確認し合ってきたことである。連合は「働くことを軸とする安心社会」をめざしている。働くことに最も重要な価値を置き、誰もが公正な労働条件のもと、多様な働き方を通じて社会に参加でき、社会的・経済的に自立することを軸とし、それを相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットがくみこまれていく活力あふれる参加型社会である。加えて、「持続可能性」と包摂を基盤に置き、年齢や性、国籍の違い、障害の有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、誰一人取り残されることのない社会である。それらの実現に向けては、「働くこと」につながる五つの安心の橋を整備していくことが求められる。五つの橋とは、「学ぶことと働くことをつなぐ橋」と「学ぶことの推進、生涯を通じて学び続けられる環境の整備(学び)」、「くらしと働くことをつなぐ橋(すべての人々が働き続けられる公平・公正なワークルールの確立、多様な働き方・生き方が選択できる社会の構築など)」、「働くかたちを変ええる橋(良好な雇用の拡大と完全雇用の実現、デジタル・ワークの実現など)」、「離職から就労へつなぐ橋(職業訓練と公正な能力評価、雇用のマッチング機能のパッケージ戦略の構築、すべての労働者に雇用保険と社会保険を適用など)」、「健康・長寿社会をつくる橋(誰もが希望すれば生涯にわたり働き続けられる社会の構築、安心と信頼の所得保障制度の整備・普及など)」だ。働くことの意味とは何か。私は、働くこととは、①収入を得ることによって生活を維持すること(経済的自立)、生きていくための手段)、②仕事を通じて知識や技術を習得し、やりがいを持ち人生を充実させること(自己実現をはかる、自分自身の成長)、③仕事を通じて得られる社会とのつながりを持つこと(人と人の交流や組織を通じて、社会の一員となる)の三つだと思っている。皆さんは今後、仕事を進めるにあたっては、「視点、視野、視座」を重視してほしい。視点とは「視線が注がれるところ(どこを見ていくか)」、視野とは「眼を動かさずに知覚できる範囲(どこまで見ているのか)」、視座とは「物事を見る立場(どこから、どの高さからみているか)」だ。物事をスムーズに進めるために、視点を変え視野を広げ視座を高くすることで、高い思考力につながる。また、自分の正しさに酔ってはいけないということも言っておきたい。相手へのリスペクト(敬意)と自己へのリスペクト(疑念)がとても大切なことだと思

生産性「トップマネジメント・クラブ」朝食会
~政治・経済・社会をよむ~
2022年5月~9月【第46期】(毎月1回、8時~10時)
内容: 朝食・懇談、講演、質疑応答
対象: 企業の経営トップ・幹部、労組、団体、自治体の幹部
会場: 横浜ロイヤルパークホテル(横浜ランドマークタワー70階)
講師: 下記URLよりご参照ください
http://www.kanagawapc.jp/topmanagement/
神奈川県生産性本部
TEL:045-680-1863 FAX:045-680-1864
Eメール: kanagawa-honbu@ipc-net.jp
URL: http://www.kanagawapc.jp/

階層別・テーマ別教育研修
管理職: 上級管理職コース(通い2日)、管理者実践コース(合宿2泊3日)
係長・主任・監督者・現場リーダー: 現場リーダー(監督者)実践コース(通い2日)、リーダーシップ開発コース(通い2日)
中堅社員・新入社員: 中堅社員育成コース(1日)、新入社員基礎実務コース(1日)
組織活性化・経営数値・メンタルヘルス: 組織活性化「5S」コース(1日)、経営数値「入門」「実践」コース(1日)、メンタルヘルス&ハラスメント対策講座(1日)
ライティング・プレゼンテーション: ビジネス文章力アップ講座(1日)、Powerpointスキルアップ講座(半日)
詳しくは神奈川県生産性本部にお問い合わせください。

安心して働くために... つくろう! はいろいろ! 労働組合!
連合が組合づくりをお手伝いします
なんでも労働相談ホットライン
フリーダイヤル いごらよ れんごらに 0120-154-052
連合神奈川
(日本労働組合総連合会神奈川県連合会)
〒231-0023 横浜市中区山下町24-1 ワークピア横浜4F
TEL.045(211)1133 FAX.045(201)8866
https://rengo.or.jp